F-45 デルファイ方式による未来生活の予測（その4 住生活）
家庭経営学・家政学原論・家族関係 177

目的 本調査研究の目的は、生活指標の基礎資料をうることである。このためにデルファイ方式により生活全般に対する未来像の予測を行うことである。

本調査研究は、生活そのものに対してであるが、住生活については、特に、住宅の構築の問題、部屋構造の問題、および環境設備に対する予測を主とする。

方法 本調査研究は、衣食住教養家族家族経済-1経営および統計調査等の専門家を構成したチームによって設計された生活予測のための82項目に対し、アンケート調査により、斯界の指導的見解の方々の意見を集約し、その結果を分析検討するものである。なお、デルファイ方式に従い、今後さらに同一内容のアンケートをくり返して回答者の意見を残念させる予定である。

結果 本アンケート調査は、本年6月21日～7月20日の間に行われ、発送票数808に対し2356票の回答を得た。そのうち住生活に関連する回答は211票であった。この専門家による回答と統計的分析結果との比較、さらに年次別による回答結果との比較等により、その差異を考察したが、詳細は別紙の都合により省略する。

F-46 デルファイ方式による未来生活の予測（その2-2家庭生活・教育に関する予測）

目的 本調査研究は生活指標の基礎資料をうることであり、デルファイ方式により生活全体に対する未来像の予測を行うことである。

方法 本アンケートにより専門指導的立場より方々の指導的な意見を收集し、その結果を分析検討するものである。尚、デルファイ方式に従い、今後更に同一内容のアンケートをくり返して回答者の意見を収集させる予定である。

結果 本アンケートの実施日は昭和49年6月21日（回答票発送の日）より、7月20日締切日までである。調査対象者は主に専門家408名を選び、回答を、236票25％184票が得られた。その家庭生活及び教育に関する専門分野への回答者は児童（20名）家族関係（2名）教育（2名）であった。これら250名、児童、家族、関係及び教育に関する184票の回答結果と、各専門家には副で全回答者結成果を比較検討し、その世代別に各予測結果について検討し、これを最終的に示す予定であるが、その詳細は詳細は別紙の都合により省略する。